

ひとりで悩まないでも大丈夫

～すぐできる！入園・入学前のおすすめ育児法～

春を感じる陽気になり、卒園そして入学を控えたご家庭は、新しい季節にわくわく、ドキドキされていることと思います。保護者の方も、子どもの成長の嬉しさと寂しさなどの入り混じった複雑な気持ちだと思います。そんな中、子ども達は大きく“新しい環境への不安”を感じ、色々考えてしまうお子さんもいるようです。

「そんなんじゃ小学生になれないよ」「これくらいみんなできてよ」とついつい言ってしまうがちな言葉です。この時期によくある子どもの不安への対応方法を紹介します。忙しい子育て中ですが、お子さんとのゆったりとした時間を作ってみるのはどうでしょうか。

幼稚園保育所 入園前

春から入園！！
パパやママから離れて
一人で幼稚園（保育所）
行けるかなあ



聞いてみよう！ 保健師からのアドバイス

「心配になっちゃうね。でも先生はとっても優しいよ」などと寄り添った言葉かけをして抱きしめてみてください。また、くすぐりっこや読み聞かせなどのふれあい遊びをして、お子さんとの時間を楽しんでみましょう。

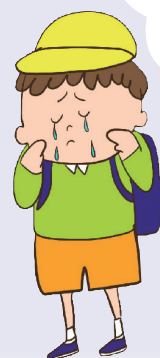


【本の読み聞かせをしてみよう】
子どもは同じ本を何度も聞くことで内容を耳から記憶します。これにより、耳からの記憶力が発達していきます。記憶は学習の基本なので覚えることや学ぶことが「楽しい♪」につながっていきます。ふれあい遊びをしながら知育もできますよ。

一日に一回でも、“ふれあい遊び”をしてみよう

小学校入学前

4月から小学校入学！
でも、一人で学校まで歩いていけるかなあ
学校生活も心配だなあ



教頭先生に 聞いてみよう



丹荘小学校
中原教頭先生

上級生と一緒に通学班で登校するので、一人ではありません。地域の登下校ボランティアさんも見守ってくれています。

また、入学前に、お子さんと一緒に実際の通学路を歩いてみて気を付ける場所などを確認すると、より安心できると思います。

入学後は、担任の先生がひとつずつ丁寧に教えていきますので、ご安心ください。

「孤育て」とは？

配偶者や親族の協力も得られず、近所との付き合いもなく孤立した中で親が子供を育てている状態のこと。



※この写真は2019年に撮影されたものです。

孤立させない子育て
地域の輪・家族の和

“59人”

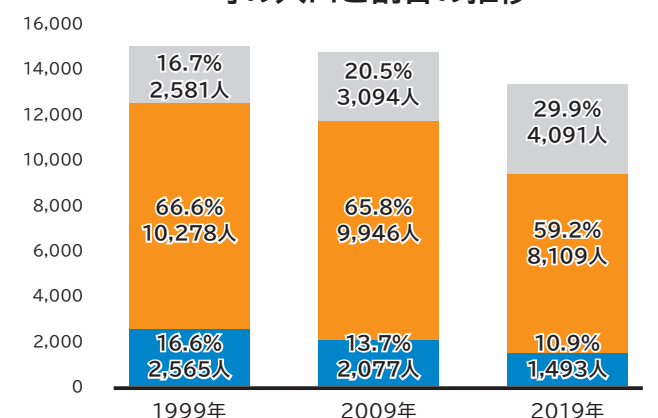
左の数値は神川町の2019年の出生数です。10年前と比べ、51人減っています。下のグラフからわかるように、2019年の0～14歳の人口は約11%、65歳以上の人口は約30%となっており、町でも少子高齢化が進んでいる状況です。

現在では三世代が同居することが少なくなり、核家族化が進んでいます。自分の子どもが生まれるまで、子どもと遊んだり関わる機会がない場合も多くあります。そんな中で行う子育ては、孤独を感じたり、不安が大きくなることがあります。さらにコロナ禍もあり、実家との行き来もできず「寂しい」と感じる人が増加し、ますます“孤育て”になってしまいます。そんな中、地域の中での声掛け、相談、困ったときに頼れる場所など地域での子育て支援が必要とされています。



神川町保健センター
子育て相談窓口
☎ 0495-74-0205

町の人口と割合の推移



■ 0～14歳 ■ 15～64歳 ■ 65歳以上
「埼玉県健康指標ソフト」により算出